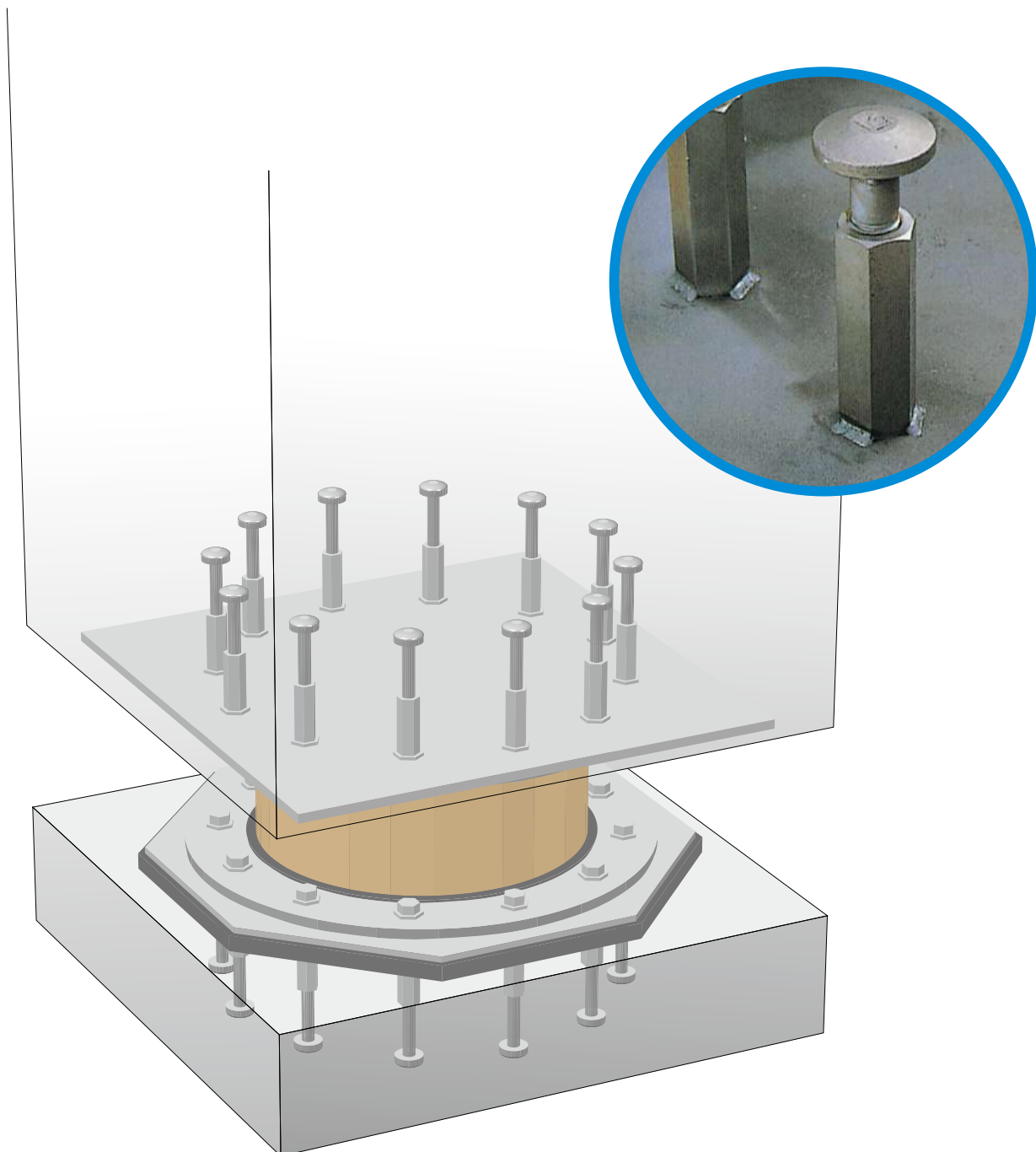


免震装置取付用ベースプレート

オクトベース®



岡部株式会社

okabe

シンプル構造＝信頼性向上・高精度確保

●はじめに

震災時、免震構造の建築物が高く評価され、集合住宅に使用されるようになりました。その後、公共建築物にも免震構造が使用されるようになり、その安全性が周知の事とされるようになりました。また、今日多様化が進み、新築の建築物だけでなく歴史的建築物にも免

震構造を付加するレトロフィット工法、更には、超高層建築物にも免震構造を適用することができるようになっております。そこで、多様化するニーズに答えることのできる機能及び施工性を兼ね備えた「オクトベース」が開発されました。

●特長

●シンプルな構造で信頼性向上

免震部材に生じるせん断力、引張力をダイレクトにアンカーボルトへ伝え、基礎に支持させるシンプルな構造です。

●豊富な品揃え

オクトベースは、ベースプレートおよびアンカーボルトのサイズ・強度区分等を免震部材の性能に合わせた選択が可能です。

●各種免震装置に対応

天然ゴム系、高減衰ゴム系、鉛入り系など各種積層ゴムに対応いたします。また、鉛ダンパーのベースプレートにも対応いたします。

●施工を考慮したオクトベース形状

射体構造を考慮し、施工性の向上を達成した結果、下部オクトベースは八角形でコンクリート打設、グラウト充てんが確実にこなえ、シンプルなアンカー構造のため基礎配筋と干渉しにくく、施工における高精度を確保できます。また、上部オクトベースは型枠工事を考慮して四角形としています。

●計画、製造から取付施工まで一貫した体制

オクトベースは計画、製造からオクトベースの取付、免震部材の据付、配筋計画の事前打合わせなど、工事に沿った支援をいたします。施工は当社の教育を受けた専門作業員が独自の施工方法で精度を確保、管理します。

施工精度

傾斜：1/500（対辺寸法）

レベル：±3mm

位置：±5mm

●新築工事からレトロフィットまで

オクトベースは新築工事はもちろん、耐震改修レトロフィット工事にも対応、計画から施工まで一貫した体制を整えています。

カタログの使用にあたって

- 1.本カタログは、建築設計事務所様、建築施工会社様等において、オクトベースを用いた建築物を設計および施工・管理される際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。
- 2.設計・施工にあたっては、本カタログを必ずご一読くださるようお願いいたします。
- 3.製品仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご承知ください。
- 4.印刷物と実物とは、多少外観が異なることがありますので、あらかじめご承知ください。

本カタログの中で特に注意していただきたい事項については下記の警告表示をしております。



：一般的な注意を喚起する表示

免責事項

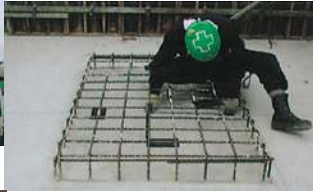
万一、オクトベースに問題が生じた場合には、下記の免責事項をふまえた上で対応させていただきます。

- 本カタログに記載した注意事項が行われず発生した不具合
- 本カタログに記載した事項に反した設計・施工による不具合
- 本カタログに記載する使用目的以外の使用による不具合
- 標準仕様以外に設計者・施工業者等の使用者が指示した仕様による施工・取扱いに起因する不具合
- 引渡し後、仕様・性能の変更を行い、これに起因する不具合
- 開発・製造・販売時に通常予測される環境等の条件下以外に於る、使用・保管・輸送等に起因する不具合
- 不可抗力（天災、地震、地盤沈下、火災、爆発、騒乱など）により発生した不具合
- 瑕疵（かし）を発見後、すみやかに届けがされなかった場合

施工参考例



【写真1 下部オクトベース搬入】



【写真2 レベルベース墨出】



【写真3 アンカー孔挿孔】



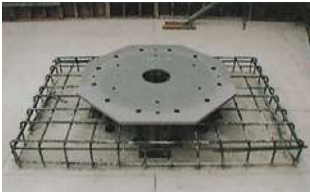
【写真4 アンカー孔掃除】



【写真5 アンカー打設】



【写真6 レベルベース設置後】



【写真7 下部オクトベース仮置き】



【写真8 レベル調整】



【写真9 位置調整】



【写真10 下部オクトベース固定】



【写真11 溶接固定後】



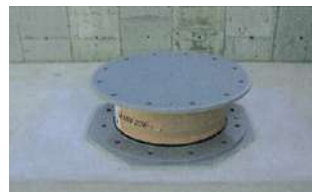
【写真12 下部オクトベース設置後】



【写真13 コンクリート打設】



【写真14 積層ゴム据付け状況】



【写真15 積層ゴム設置】



【写真16 上部オクトベース設置】



【写真17 ボルト仮締め】



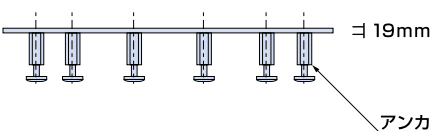
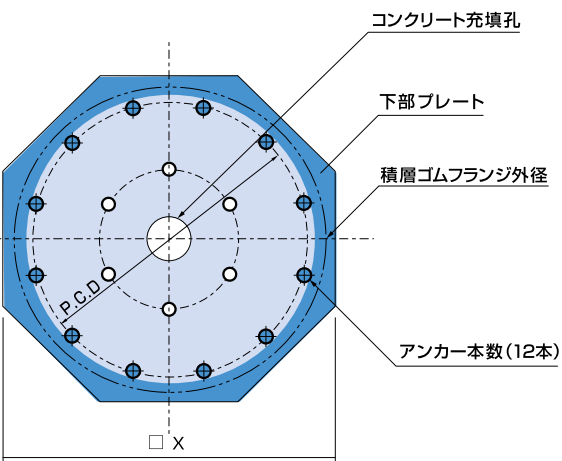
【写真18 トルク導入】



【写真19 マーキング】

○オクトベース概要図

下部オクトベース



標準色 N-55

下地:	プラスト処理	
下塗り:	ジンクリッチペイント	75 μm
中塗り:	エポキシ樹脂系塗料	60 μm
上塗り:	エポキシ樹脂系塗料	35 μm
	合計膜厚	170 μm

上部オクトベース

